

瑞穂土木だより

第 34 号
令和5年3月
発行・編集/
瑞穂土木事務所
TEL831-6161
FAX831-8710

竹田公園特定愛護会が『都市緑化功労者』市長表彰！

竹田公園特定愛護会が、長年の活動功績が認められ、令和4年度「都市緑化功労者」に決まり、令和4年10月19日に名古屋市公館で市長感謝状が贈られました。

区内には、公園や街路樹などの愛護会活動をしている団体が、表彰された竹田公園特定愛護会をはじめ69団体あります。

愛護会のみなさまには、日頃からまちの美観の維持にご尽力いただき、本当にありがとうございます。



表彰式の様子

市道豆田町線に自転車通行空間を整備

名古屋市では、すべての道路利用者（歩行者、自転車、自動車など）にとって、安全で使いやすい道路空間の実現のため、「自転車通行空間」を計画的に整備しています。その中で、令和3年度から市道豆田町線（旗屋町交差点～堀田通5交差点）において、自転車通行空間の整備を行いました。

2月初旬に予定区間の工事が完了し、自転車は車道の自転車通行帯（『自転車専用』と表示）を利用できるようになりました。自転車は原則車道通行で、車と同様の方向へ通行してください。

『逆走、ダメ、ゼッタイ！』



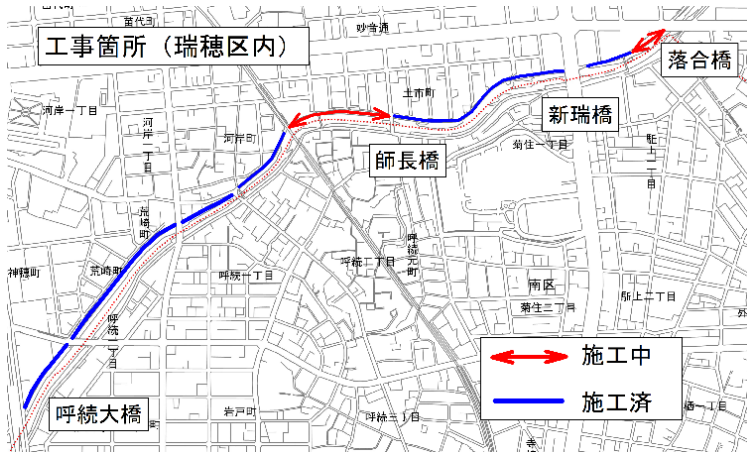
山崎川堤防の耐震化工事完成間近

瑞穂土木だより第34号

南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震により想定される津波の被害を防止・軽減するために、山崎川の河口から新瑞橋までの区間で、堤防の耐震強化工事を進めています。

区内では平成30年度に呼続大橋付近から工事を開始し、現在約9割の区間の工事が完了しています。

また、新瑞橋から落合橋の区間では、令和3年度から大雨による浸水被害を防止・軽減するために堤防改修工事を行っています。



耐震強化後の堤防（土市町）

サクラの品種あれこれ ～ソメイヨシノ～

区内にはいろいろな品種のサクラがあります。瑞穂土木だよりではいろいろなサクラの品種についてシリーズで紹介していきます。第一回目は「ソメイヨシノ」です。

「ソメイヨシノ」‘染井吉野’はオオシマザクラとエドヒガンの雑種です。日本で一番多く植えられている品種で、気象庁の各地の標本木にもなっています。

東京の旧染井村の植木職人が「奈良の吉野山」にあやかって、吉野桜として売り出したのが始まりですが、奈良の桜の多くは「ヤマザクラ」なので、混同しないようその後「ソメイヨシノ」となり、全国に広まっていきました。

「ソメイヨシノ」は自身で子孫を増やせない品種です。植えられているものは接木や挿木などのクローン増殖なのでDNAがすべて同じであることが分かっています。

成長が早く大木になるので好まれていましたが、サクラ類てんぐ巣病に罹りやすく伝染するため、近年山崎川周辺では「ジンダイアケボノ」を代替品種として更新しています。

※次回は「ジンダイアケボノ」についてご紹介します。

さくらの名所応援募金にたくさんのご寄附ありがとうございました



どりょくん(緑政土木局補修班イメージキャラクター)

土木事務所では日ごろパトロールを実施し、道路や公園の不具合個所の早期発見・補修につとめています。お気づきの点がございましたら土木事務所までご連絡ください。

瑞穂土木事務所のページからPR
ソングの動画をみてくださいね

